

子育てほんわかタイム

大切にしたいね、家族の会話



のんじの 教育

Contents

- プラチナエネルギースクール@青森、
全国少年少女レスリング選手権大会
..... 1
- 総合教育会議..... 2
- 教育ニュース..... 3、4、5
- 子どもの文化、スポーツ活動紹介、
お知らせ..... 6
- 28年度へ向けた取り組み..... 6

生き生き子ども！ 温か家族！ はつらつ先生！ 地域が支える野辺地の教育

発行/野辺地町教育委員会 Tel 0175-64-2119 fax 0175-64-4954



野辺地の省エネ・ 創エネを学ぶ プラチナエネルギースクール @青森

実験する生徒と指導する小宮山会長



優勝した松田選手

第32回 全国少年少女レスリング選手権大会

「日頃、最後まで全力で練習をしてきた成果ができました」とコーチからコメントをいただきました。

4月3日には東京駒沢体育館で行われるジュニアクイーンズカップに出場するとのことで、御活躍を期待します。

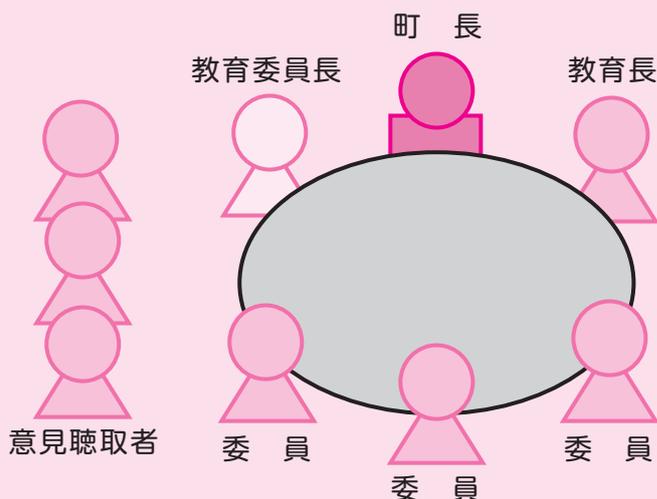
7月24日～26日に東京国立代々木競技場で開催されました第32回全国少年少女レスリング選手権大会において若葉小学校4年の松田涼那選手が、女子の部4年生33kg級で全国の強豪を相手に接戦を制し見事第1位となりました。

全国少年少女レスリング
選手権大会
若葉小松田選手が日本一！

総合教育会議を開催しました

今年度より始まった「総合教育会議」は、町長、教育委員会が町の教育について幅広く話し合う会議です。

総合教育会議



- 主な協議事項
- ① 教育行政の大綱の策定
 - ② 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策
 - ③ 児童・生徒の生命・身体への保護等緊急の場合に講ずべき措置

平成27年度 総合教育会議の会議内容

【第1回】

- 日時：平成27年4月30日（木） 午前9時30分
場所：野辺地町中央公民館 第1階研修室
案件：（1）野辺地町総合教育会議設置要綱（案）について
（2）野辺地町教育行政の大綱について
出席者：町長、教育委員長、教育委員3名、教育長、教育委員会職員5名

【第2回】

- 日時：平成27年11月10日（火） 午後3時
場所：野辺地町役場 議場
報告：（1）各校の現状と課題について
（2）中学生アンケートの結果について
案件：野辺地町人財育成助成金交付要綱（案）について
要望：（1）平成28年度当初予算要求重点事項（教育委員会）について
（2）校長会要望事項について
出席者：町長、教育委員長、教育委員3名、教育長、町内学校長6名
スポーツ推進委員協議会長、教育委員会職員7名



イングリッシュデイ参加者と完成した英語のまちマップ

**イングリッシュデイ
英語で楽しくまちの
魅力発信**

11月21日、町内の観光地巡りをしながら英語でまちを紹介する英会話交流「イングリッシュデイ」を開催しました。

町内の小・中学生と町の外国語指導助手（ALT）のドーン・メリッサジェーンを始めとする8名のALTがまちの観光地クイズや英語のまちマップ作りに挑戦しました。グループに分かれテーマの観光地に赴きクイズの答えを探すとともに、「ここではBQができます！」といった観光地の紹介を英語で挑戦し、まちの魅力発信に活躍しました。

まちづくりALTの英会話塾&英語版パンフレット作成の実施

11月から2月までの4ヶ月間、町にALTがもう1人やってきました。新しいALTは、町内の児童生徒にもっと英語に親しんでもらえるよう英会話塾を実施するとともに、既存の町の観光パンフレットの英訳をしました。

小学生の部は野辺地小・若葉小・馬門小の児童がそれぞれアルファベットや英単語を学ぶとともに、「What study on this Sunday?」「I study Japanese!」など、英会話の学習と交流を楽しみました。ワイワイ遊びながらの4ヶ月となりましたが、最終回のアンケートでは「英語をたくさん覚えられてよかった」「楽しかった」「来年もやりたい」といった感想が数多くあげられました。

中学生の部は毎週水曜と土曜の週2日開催されました。動詞の活用形や英単語、学校の授業の予習復習やテストの復習をゲームも交えて学習しました。

日に日に上達する生徒の様子を見て、ALTから参加した生徒へ「これからいろいろなことを経験して



英会話塾の様子と英語版観光パンフレット

きますが、英語は皆さんの強みとなり味方となってくれます。学年を追うごとに習う英語は難しくなりますが、諦めないで勉強を続けてください！」と力強いメッセージが贈られました。英会話塾と同時に進められた観光パンフレットの英訳：主に既存の日本語の英訳でしたが、イングリッシュデイで児童生徒がまち紹介をした際の内容も含まれています。パンフレットは図書館やスキー場など町内の施設に設置されるとともに、三沢・青森空港など、海外旅行者の目に多く触れる施設へも設置されます。

今後、まちに外国人観光客が多く訪れるかもしれません。元気で人懐こい野辺地の子どもたちと一緒に大人の皆さんも「Hello」と声をかけて来町者を歓迎しましょう。

**野辺地高等学校 家庭クラブ
東北ブロック研究発表大会
最優秀賞受賞！全国大会へ**

野辺地高校家庭クラブは、野辺地町の特産品をPRするたぬめ、料理コンクールへの出場やキャラクター（めじゃーず）の考案、絵本の作製など様々な活動を行ってきました。昨年度は、コンビニとの共同商品開発で、『ペロっとりんごオムレット』の販売を行いました。

これら3年間の取り組みを、12月11日に秋田県で開催された、第63回東北ブロック高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会で、一地域資源を活用し野辺地

**八戸学院野辺地西高等学校
赤十字奉仕団
活動研究会に参加**

10月13日、野辺地町中央公民館において「平成27年度上十三地区赤十字奉仕団活動研究会」が開催されました。

上十三地区の奉仕団から約200名が出席し、地元奉仕団の取り組みが報告される中、野辺地西高等学校がJRC活動について発表しました。

1年間の活動や先輩達より受けつぎ継続してきた活動について発表したところ、多岐にわた



全国大会に出場する野辺地高校家庭クラブ

町をメジャーに」と題して発表し、みごと最優秀賞を受賞しました。

その結果、平成28年8月5日に福島県で開催される全国大会に、東北ブロック代表として出場することが決定しています。

その内容に「大変頑張っているね」といった感想があげられました。

また、発表後のアトラクションとして、野辺地西高等学校祇園離子保存部による祇園離子が披露されると、会場から大きな拍手が沸き起こりました。



JRC活動の発表をする生徒

4月から学校や各種団体の行事予定をホームページでお知らせします。http://www.town.noheji.amor.jp

**プラチナエネルギー
スクール@青森
エネルギー消費に
ついて考え、学ぶ**

エネルギー学習の一環として、全国初となる「プラチナエネルギースクール@青森」が野辺地中学校で開催されました。

エネルギーに係る基礎的な知識・学力の習得と、エネルギー消費について学ぶことを目的とし、7月28日に第1日目として実習・講義が行われました。

また、第2日目となる9月19日には各家庭で測定・分析した研究結果の発表が行われ、野辺



エネルギーの実験をする参加生徒

地町における省エネについて議論が交わされました。

11月17日には修了式が行われ、主催となるプラチナ構想ネットワークの小宮山会長から参加全生徒に修了証が授与されました。

**ICT教員研修
タブレットを利用した授業の体験**

教育の情報化の推進の一環として、町内の小中学校の教職員へのICT研修が11月2日に行われました。

文部科学省および野辺地町の教育振興計画の中で、ICT機器、特にタブレット端末の段階的な整備が検討されています。

研修では、タブレット端末の基本操作やそれを利用した授業事例の体験が実施され、参加した教職員からは「考えの共有で利用できる」「見せる」活動に効果的」「学習への意欲が高まる」など、実際の授業での利用に関して多くの意見がでました。



タブレット操作を体験する先生方

学力向上指導員を配置しました

「確かな学力」を身に付けるため、町では平成27年度から学力向上に特化した指導員の配置をしました。元校長だった新渡幹夫氏が指導員となり、定期的に学校訪問をして先生たちの授業を観察し、児童・生徒への指導方法の助言を行っています。特に教材研究の指導による、全体的な学力向上の底上げが期待されます。

その他、平成27年度の主な取り組みとして、野辺地町・横浜町合同授業研修会を開催しました。教員を対象とした講演会及



学力向上指導員の取り組み

**小学校社会科副読本
3・4年生用
「わたしたちの野辺地町」**

この度、平成28年度から5年間、小学新3・4年生が使用するための社会科副読本を刊行しました。

この副読本は、自分たちが住んでいるふるさと「野辺地町」を子どもたちにもっと身近に感じてもらい、学ぶことの楽しさを知り、豊かな心を養い、野辺地町に生まれて良かったと思えることを願い作成しました。



平成28年度から使用する社会科副読本

また、毎週土曜日には「家での勉強の仕方がわからない」という中学生を対象とし、数学と英語の教科について学習会を開催しました。

編集にあられた各小学校の委員の方々をはじめ御協力くださった多くの方々により感謝と御礼を申し上げます。この副読本は、町内の学校、図書館、歴史民俗資料館などの関係機関に寄贈されます。

小学校の耐震補強工事が完了しました

7月から工事を行っていた町内3小学校の耐震補強工事が3月ですべて完了しました。

地域の皆様には工事期間中大変ご迷惑をおかけしましたことを、改めてお詫び申し上げます。併せて、工事に際しましては、ご理解とご協力を賜りましたことについて、深く感謝申し上げます。

**野辺地町学童入スキー
第50回記念大会開催**

2月19日、第50回目となる学童スキー大会が、馬門スキー場で開催されました。

町内3校の小学生316名が参加し、他校の生徒と競い合いながらスキー学習の交歓を行いました。節目の記念大会となった本大会は天候にも恵まれ、クロカン・アルペン両競技ともけが人もなく無事に終えることができました。

ふれあい教育 フェスティバル 読書活動・ 読み聞かせを発表

読書や読み聞かせを通して家族のふれあいを深めてもらうと、11月21日、中央公民館で「第6回ふれあい教育フェスティバル」を開催しました。

町では、毎月20日を「ふれあい教育の日」「家族ふれあい読書デー」に制定。

フェスティバルでは、家読(うちどく)をテーマとした標語コンクールの表彰式や子ども司書、野辺地高校家庭クラブによる読

サッカーワールドカップ アジア予選 柴崎岳選手を応援

サッカー日本代表に選ばれた、野辺地町出身の柴崎岳選手を町を挙げて応援しようと、6月16日、9月3日、中央公民館で「2018ワールドカップロシア・アジア2次予選」パブリックビューイングを開催しました。

6月のシンガポール戦では、柴崎選手が先発出場。日本代表がシュートを放つたびに、町民ら約100人が歓声を上げ、大型スクリーンに映し出される柴



絵本の読み聞かせを行う子ども司書

み聞かせ、八戸学院短期大学の三村三千代さんによる読書講演会など、会場に訪れた約100人が読書の楽しさ、魅力に触れました。



日本代表に声援を送る観覧者

崎選手に大きな声援を送りました。

人生の「最期」を考える 男女共同参画 町民研修会を開催

「だれもが個性と能力を発揮できる男女共同参画社会」づくりにむけて、12月9日、中央公民館で町民研修会を開催し、約70人の参加者が「終活」について理解を深めました。

講師を務めた弘前市の専求院住職の妻で上級終活カウンセラーの村井麻矢氏によると、「死を知ることは生きること、生前の思いを記すことは家族への愛情である」と終活の大切さを話していました。参加者は、講演会後に行われ

国指定重要文化財 無料見学 キャンペーン

国の重要文化財に指定されている、「板状立脚土偶」と「赤漆塗木鉢」を町内外にPRする無料開放が、5月10日から31日、歴史民俗資料館で開催されました。

今回は、「板状立脚土偶」が約8か月にわたる解体修理を終え町に戻ってきたことと、「赤漆塗木鉢」の国指定を記念してのキャンペーン。会場には、当時の発掘の様子



「自分らしい生き方」について話し合う参加者たち

たワークショップで「これからは周りへの感謝の気持ちを持つて生活したい」と自分の生き方を振り返っていました。



町キャラクター「じーの」から記念品を受け取る園児の皆さん

を伝えるパネルや資料、カットリック幼稚園の園児がカラフルに色付けしたぬりえなどが展示されました。

小・中学校 大会派遣事業費補助金

町では、野辺地町在住の小学生又は中学生で構成する団体の文化・スポーツ活動を支援するため、平成27年度より東北・全国大会への補助事業(選手2分の1・監督・引率全額補助)を新たに設けました。県において予選を勝ち抜き県の代表・選抜として東北・全国大会等に出場し活躍した団体を紹介します。今後の選手皆さんの活躍を期待します。

(全国大会)

野辺地剣友会選手2名、野辺地中学校陸上部(駅伝含む)選手5名、野辺地中学校スキー部選手9名、野辺地町空手道連盟(中学生)選手9名、野辺地野球スポーツ少年団選抜選手1名、若葉小学校卓球部選手1名

(東北大会)

野辺地中学校陸上部(駅伝含む)選手9名、野辺地中学校スキー部選手14名、野辺地中学校剣道部選手8名、野辺地中学校体操部選手7名、野辺地柔道スポーツ少年団選手2名、青森県ハンドボール協会男子及び女子(選抜)選手12名

4月から学校や各種団体の行事予定をホームページでお知らせします。 <http://www.town.noheji.aomori.jp>



文化・スポーツ活動に 子どもたち集まれ!



子ども会 入会募集

子ども会名	育成会代表者	連絡先
下町一区子ども会	村木亜弓	64-2670
D51(駅前)子ども会	木村正代	64-0575
城内子ども会	久保田えり子	64-5440
浜町子ども会	星川大輔	64-4359
新道子ども会	高松美華	090-8424-4464
金沢町子ども会	甲斐稔信	64-7384
下袋町子ども会	中山直樹	64-9510
馬門子ども会	亀田尚武	64-4482

- 主な活動 ①のへじ祇園まつり参加 ②ラジオ体操
③各種お楽しみ会 ④サマー体験
- その他 1) 子ども会への入会は強制ではありません。
2) 後日、学校を通して申込書が配布されます。
3) 住んでいる地区に子ども会がなく、入会を希望される方は、町教育委員会(Tel.64-2111)へご相談ください。

文化少年団 団員募集

- 対象 小学生・中学生(版画・陶芸は小学校2年生から)
- 活動期間 6月～12月
- 活動場所 中央公民館(陶芸少年団は、愛宕コミセン)
- 申し込み 5月27日(金)までに中央公民館(64-3054)
結団式は、6月4日(土)午前9時30分から、行います。

少年団名	活動日・時間	活動費
子ども将棋少年団	第2・4日曜日 9:00～	1,000円
料理少年団	第4土曜日 9:30～	2,000円
茶道少年団	第2土曜日 9:00～	2,000円
版画少年団	第2・4土曜日 13:00～	2,000円
陶芸少年団	第1・3土曜日 13:00～	2,000円
郷土カルタと百人一首を楽しむ会	第2・4土曜日 13:00～	1,000円

※活動日・時間は変更になる場合もあります。

スポーツ少年団 団員募集

(スポーツは友達! みんなで少年団の仲間になろう)

少年団名	連絡先
ハンドボールスポーツ少年団	滝口 太 64-2111(役場)
柔道スポーツ少年団	横浜信弥 64-2225(野辺地中学校)
ジュニアバドミントンスポーツ少年団	滝澤完至 64-2706
ミニバスケットボールスポーツ少年団	甲地潮史 64-2271(野辺地小学校)
剣道スポーツ少年団	木明裕二 64-7555

少年団名	連絡先
野球スポーツ少年団	野呂信幸 64-2111(役場)
マラソンスポーツ少年団	若山弘一 64-2774(若山燃料)
卓球スポーツ少年団	松尾節男 64-1770(健康増進センター)
体操スポーツ少年団	酒田綾子 64-4692
サッカークラブU-12スポーツ少年団	市ノ渡康之 090-2791-3154

平成28年度へ向けた取り組み

町では、急激な人口減少と少子高齢化が進行していることから、教育の面では“郷土をますます愛し育て「人財」を育てる”をキーワードに掲げて様々な方たちと話し合ってきました。

そこで、人材育成のために町が助成金を交付します。

★学力向上支援事業

町内にある県立野辺地高等学校と八戸学院野辺地西高等学校の2校に在籍する生徒から、国公立大学及び県立大学への入学者を増やすため、予備校が実施する短期間の講習に参加する費用を助成することで進学率の向上を図ります。

★競技スポーツ強化支援事業

町内の小学校、中学校及び高等学校に在籍する個人及び団体を対象として、大会での上位入賞を支援することで、選手の育成と競技力の向上を目指すことを目的とし、全国大会・東北大会に出場するための強化費を助成します。